

霊的状态を高めていくには？霊的成長するためには？

私たちが、福音を聞き、キリストを信じる信仰告白をした後、どのように導かれてきたか？を振り返ると下記の I と II が強調されてきた。

I. Knowing : 知識

教理 三位一体の神(父なる神、イエス・キリスト・聖霊)、罪、救いなど。

聖書知識 聖書を読む。時代背景、意味

学び会

II. Doing : 行い (活動)

デボーション、礼拝(教会、家庭)、奉仕、祈りなど

I、II にだけが、印象に残っている。そうすると、いつのまにか、知らないうちに、あれもこれもできていないと思い。自分は劣っていると思う傾向がある。

III. Being : 存在 (神の前に)

(1) 私たちは、信仰によって三位一体の神との交わりに生きる者と造られた。

I ヨハネ 1:1~4

「私たちが見たこと、聞いたことを、あなたがたにも伝えます。あなたがたも私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父また御子イエス・キリストとの交わりです。これらのことを書き送るのは、私たちの喜びが満ちあふれるためです。」 I ヨハネ 1:3~4

ヨハネが伝えた内容 : 1~2 節 「いのちのことばであるイエス・キリスト」

ヨハネが伝える目的 : 3 節 「私たちと交わりを持つようになるため」

喜び : 4 節

(2) 私たちの心の深い暗闇に光を照らすためにイエス様は、地上に来られた。

静まる方法の一例 「だれの辞書にも不可能という文字はない」 ノーマン・V・ピール
「まず、はじめの 5 分間神のことだけを考える。優しく、愛情深い父としての神の姿を思い描き、次のことばを思う。

静寂、静寂。 天なる父。優しい父。私の父。

神をまさにこのように思う。次に

偉大な神。愛情深い神。庇護してくださる神。

さらに。

イエス・キリスト、救い主は、今私を助けてくださる。

と心の中言う。

残り 5 分間は、失望を永遠の静寂、神の偉大な手の中に委ねる自分を思い描く。自分の失望を、神の大いなる手に渡し、神の任せるところをありありと想像する。」

(3)Knowing(知識)、Doing(活動)、Being(神の前に) を統合を意識するとき霊的状态が高められいく。

神を知る Knowing(知識) ⇒ Being(神の前に) ⇒ Doing(活動)

★あなたはこれから心が満たされるために、具体的に何を心がけようと決心しましたか？